

# Kirinn班実践報告会



2018年3月30日(金)  
住吉総合福祉センター障がい通所事業部  
原田みさき・大藪聡

# Kirinn班概要

- メンバー 13名 1日平均10名程度
- 設立2005年5月～
- 平均スタッフ数 4人～5人
- 区分ごとの人数 (平均区分4.9)

区分6→4人 区分5→6人 区分4→1人 区分3→2人

- 週5日(月～金)活動 主に調理活動をメインに置きながら余暇中心の支援展開を図る。

# Kirinn班の歴史①

- ・2005年5月 住之江区浜口にて支援費制度の下、知的デイサービスKirinnとして開所。設立に際して、周辺住民より「土地の値段が下がる！」などの数多くの苦情が寄せられる。こうした施設コンフリクトが巻き起こる中、法人職員が住民説明会を何度も実施した中での開所。地域との協働を目指し、夜警、盆踊り、祭りなどにスタッフが参加。貸し部屋などを行い、町会長を中心に関係を築いていく。
- ・2006年9月 Kirinn班初の旅行企画 (Kirinnビール滋賀県工場・信楽)
- ・2006年12月 自立支援法施行の下、新たに総セン通所設立を見越して住吉総合福祉センターへ引越し。
- ・2007年4月 住吉総合福祉センター障がい通所事業部(生活介護)が発足。オガリ作業所に続き2箇所目の生活介護事業所となる。Kirinn班も知的デイより生活介護へ統合される。あきかんつぶしを作業として始める。得た作業収入は貯金箱を各自設けて貯金を行う。

# Kirinn班の歴史②

- ・2008年6月 現在の場所へ引越し。
- ・2010年9月 Kirinn班5周年旅行を実施(有馬温泉)。貯金箱システムを導入。
- ・2014年12月 Kirinn班10周年旅行を実施(京都市内)
- ・2018年3月 Kirinn班設立13年を迎える

# Kirinn班実践報告 ～調理の視点から～



原田 みさき



# Kirinn班の調理のながれ

- ・毎週月～木曜日の午前に行なっている。
- ・メニューはメンバーさんと決めている。
- ・買い物へ行く人(当番制)、Kirinn班に残って準備をする人に分かれる。



# 振り返って感じた調理とは？

- 調理に積極的に行なう方もいるが、調理に誘うとあまり積極的ではない様子の方もチラホラ…調理を行なってメンバーは楽しいと思っているのか、調理を行なう意味ってなんだろうと思うこともあった
- 振り返る中で、あくまでも私の視点であり本当に楽しくないと思っているのかは本人にしかわからないのでは？

# Kirinn班の調理の目的

- 一つでも参加して、皆で作り上げる喜びを感じてもらう。
- 「できた！」という喜びを感じてもらう。





# 個別ケースから①

Iさん

- 男性
- 45歳
- 障がい支援区分6
- 知的障がい、自閉症
- Kirinn班11年目



# 1さんってどんな人??

- 朝の会が終わると誰よりも早くエプロンをつけ準備する。
- お皿の準備、玉ねぎの皮むき等特定の工程には必ず参加する。
- 調理に積極的に参加というよりは他の人が調理を行なっている様子を見ていることが多い。

# スタッフ視点からのIさん

- Iさんは声をかけても調理には消極的…  
調理が好きなのかな？
- 声が大きく、合いの手もよく入れられる賑やかな方



# Iさんの好きなことから

- 連絡帳が好き！連絡帳を書いてほしいスタッフのところへ自ら持って行く。
- 書いてほしい内容も伝えている。特に昼食メニューや自身が食べたものは書いてほしい気持ち強い！
- 過去の記載分(本人が指定した場所)をスタッフに読んでほしいと自ら伝えることも。



# Iさんと調理

振り返ってスタッフが感じたこと

- 目で見て楽しむ、連絡帳で作った物を伝えて振り返って楽しむ。

- その場の雰囲気を含めて楽しむ。

→調理に参加も大切。メンバーさんそれぞれの参加の方法があることを認めていく。

## 個別ケースから②

Fさん

- 女性
- 21歳
- 障がい支援区分6
- 知的障がい、自閉症
- Kirinn班1年目

以前はつみき(生活訓練)  
に通所されていた。

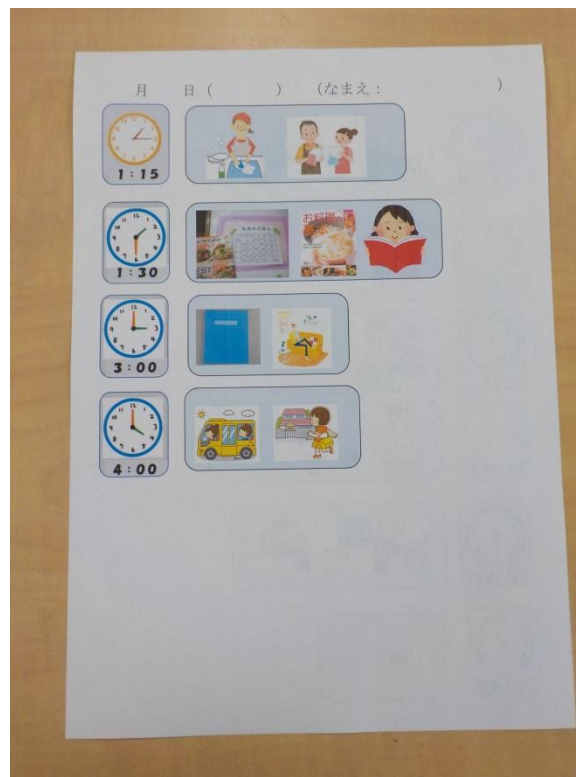
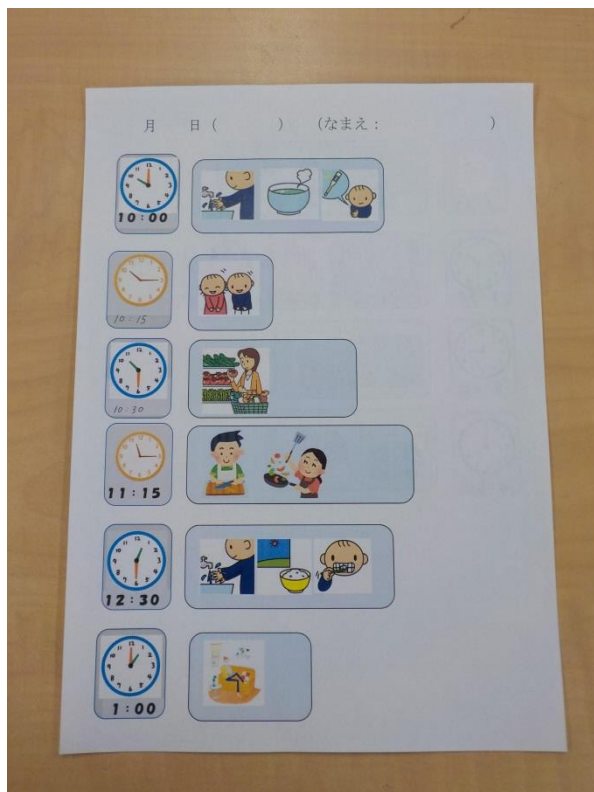


# Fさんってどんな人??

- つみき（生活訓練）で調理を経験している。
- 野菜を切る、調味料を量る等できることも多い。
- 利用当初は本人の休憩する部屋からなかなか出てくることができない。調理の声かけをするが「嫌」と言って拒否されることも…
- メンバーさんとの関係性や本人の調子によって情緒が乱れてしまう。なかなか安定して過ごすことができないことも多くあった。

# Fさんへの働きかけ①

Kirinn班に来て1年目。まずは全体の見通しを立てることに。  
シンプルに個別スケジュールを作成しました。





# 全体スケジュールの導入後

- 導入後しばらくは見ていた。しかし1か月後には朝に全体スケジュールを見た後、紙を破って捨てることが続いた。
- 全体スケジュールを配布を中止し、様子を見ることに  
→Kirinn班に置いているホワイトボードでスケジュールを確認されていた。

## Fさんへの働きかけ②

部分的に調理への参加を目指して

- ・調理で行なうことを明確にする。文字で具体的に伝え、終わりがわかるようにする。

- 例)
- ①ほうれん草を洗う
  - ②ほうれん草を切る
  - ③切ったほうれん草をボールに入れる
  - ④休憩

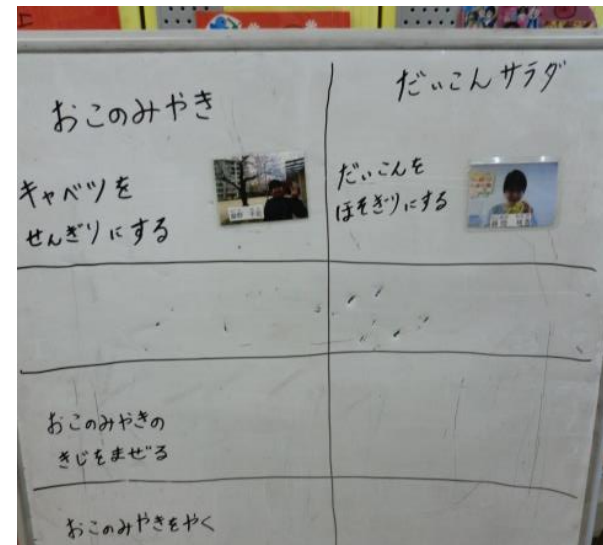
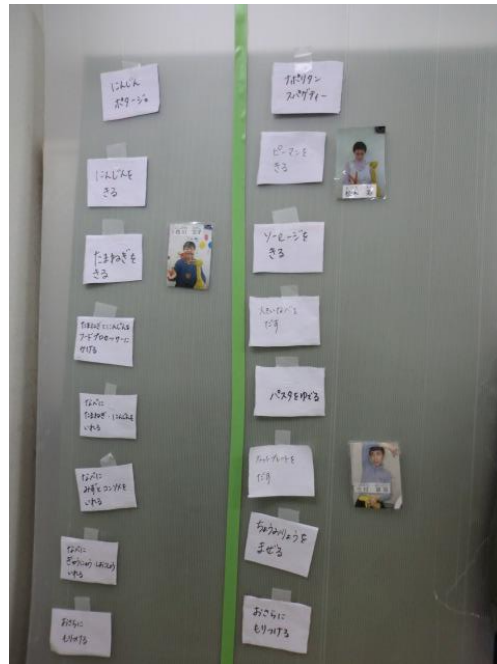
# その結果

- 伝えたことプラス、自ら出てくることも増えてくる。
- 文字で書いたことが終了すると周りを見ていた  
→次にすることを探している？
- 本人からの表出が増えた。「～がしたい！～がやりたくない！」  
→本人と支援者がコミュニケーションの方法やタイミングなどが少しずつ分かってきた

# Fさんへの働きかけ③

次にすることをわかるように

- ホワイトボードに切るもの、炒めるものを書いていく。
- 何をするか選択してもらおう
- 選択した工程が終わったあとも、次の工程を選択し続けることができた。



# これから

- 他のメンバーさんと認め合える関係性  
→調理を通して、その人の良い部分を知り認め合える。
- Fさん自身が楽しいと思える場所  
→居心地の良い場所と思えたら
- 活動の見通し  
→今何をするのか??を明確に



# 個別ケースから③

Mさん

- 女性
- 21歳
- 障がい支援区分3
- 知的障がい
- Kirinn班3年目



# Mさんってどんな人??

- ・責任感が強く、活動も率先して行おうとする。
- ・作業の手順などすぐに理解され、なおかつ正確に行うことができる
- ・料理が好き。
- ・言葉は話せるが、自身の思いを他者に伝える事は苦手

# Mさんの調理

- 切る、炒める等できることが多い。  
→できたことを伝え褒めていく。エンパワーメントの視点で関わっていく。
- 利用当初はスタッフからの声かけで調理に取り組むことが多かった。  
→今では慣れと調理の経験を積み、行なう工程を自ら選択されている。





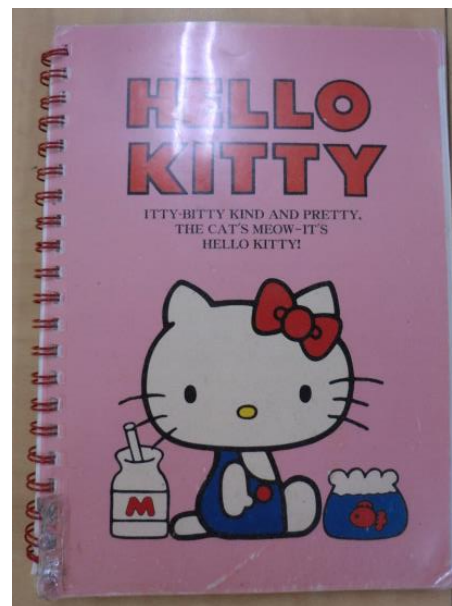
# Mさんへコミュニケーション支援

自分の思いを言葉で表すのが難しい。メンバーさんとの関係性で困ってしまうことがあった。



Mさんの思いを表現できる場を設けてみることに。

- Mさんとスタッフが話す時間の設定。
- スタッフとの交換ノート



# これから

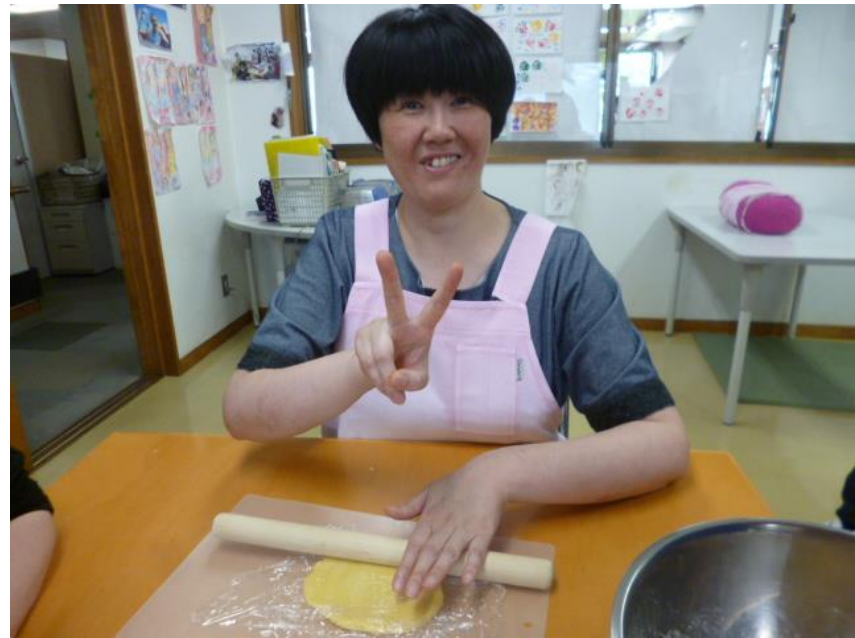
- できることを増やし、本人の自信につなげていく。
- 経験を通して、将来の選択肢を決めていける力を。



# 個別ケースから④

Aさん

- 女性
- 43歳
- 障がい支援区分4
- 知的障がい
- Kirinn班13年目



# Aさんと調理

- 調理が好き。
  - 手先が器用。
  - 何を切るか等の選択が苦手。
  - 主に声かけをして2~3の工程を絞って何をしたいか本人と相談する。
  - できたことに対して「ありがとう」と伝える。
- 次回もやってみようと思欲が湧くことも

# Aさんと他のメンバーさんとの関係性

他メンバーさんスタッフの言動を強く意識される、そして他のメンバーさんからも意識される。



• あるメンバーさんから「一緒に行こう」「やってよ」と多く言われてしまいしんどくなる。

でもその方がいないときは「寂しい」と言ってみたりと気になってしまう…

• 離れすぎても近すぎても…そのバランスをとることの難しさ。

# Aさんへの関わり

- 良い関係を築けているときもある。

- スタッフも介入しながら見守って行こう！

- Aさんの思いやしんどいときは伝えることのできる場所づくり。

→その都度、一緒に考えて行こう。ときに喧嘩しながらも一緒に歩いて行こう。

# 調理に関わる取り組み

昼食後の片付け

- 食器を洗う
- 食器をすすぐ
- 食器を拭く
- 食器を棚に片づける



自然と分担されて今の形が出来上がる。

新たに行なっていること

- 片づけの始まりが分かるように音楽を鳴らす。

# 昼食メニュー決め

- メニューは料理レシピ本を見て選択する
- インターネットでレシピを検索する

## 選択が難しい方へのアプローチ

- 事前にご家族に好きな食べ物を伺う。いくつか選択肢を設けてきく





# 昼食メニュー表↓

(作成はほぼメンバーさんです！！)

**今月のごはん**

Kirinn班 昼食メニュー表 6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			・鮭のムニエル ・はるこめスープ ・ごはん	・許精湯麺 ・水菜のサラダ ・ごはん	☆ごみ弁当	
5	6	7	8	9	10	11
	・タラとキャベツのボン酢煮し ・さんぴろごぼう ・ごはん	・千干ミ ・とうふとトマトのサラダ ・ごはん	・肉じゃが ・人参のシリシリ ・ごはん	・青菜と鶏肉の炒め物 ・ニラ玉スープ ・かやくご飯	☆ごみ弁当	
12	13	14	15	16	17	18
	・アスパラロール生姜焼き ・エリンギと三つ葉のお吸い物 ・ごはん	・ハンバーガー ・コーンサラダ ・コンソメスープ	・鶏肉の照り焼き ・春菊ととうふのすまし汁 ・ごはん	・あじの南蛮酢 ・ポテトサラダ ・ごはん	☆ごみ弁当	
19	20	21	22	23	24	25
	・ナポリタン ・ピーマンとにんじんのだしマヨ炒め	・ナスとピーマンの炒め物 ・きゅうりの酢の物 ・ひじきごはん	・トンカツ ・豆腐とわかめの味噌汁 ・ごはん	・サーモンのクリームシチュー ・パン(パンフ)	☆ごみ弁当	
26	27	28	29	30		
	・焼きヨーザ ・和風カレー風焼きそば	・サワラのカイワレボン酢煮 ・マカロニサラダ ・ごはん	・チンジャオロース ・たまごスープ ・ごはん	・鶏肉のピカタ ・煮しナスの梅おどかけ ・しらすごはん		

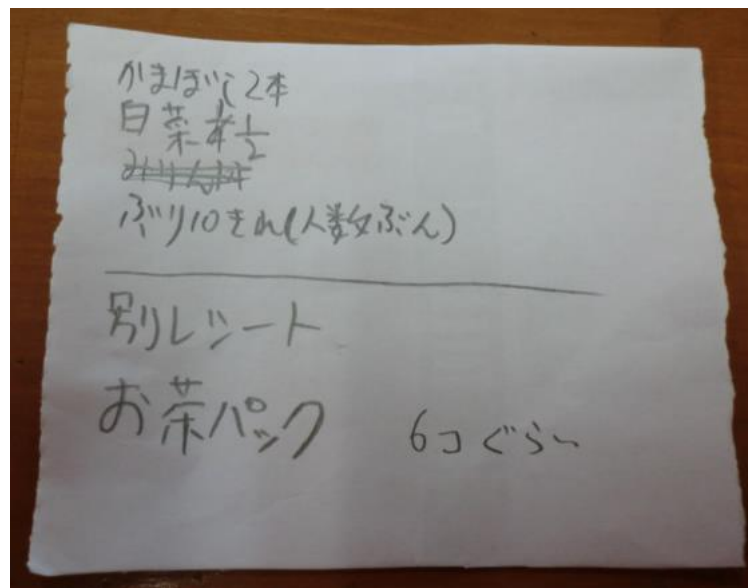
# 今後の展望

・これまでスタッフが行なってきたことに、メンバーさんがどのように関わってもらおうか

Ex) 買い物メモづくり

昼食メニュー表づくり

参加しやすい方法を皆で考えていこう！



# ある事例から

- 2年前、メンバーさんの一人がKirinn班の活動フロアに入れなくなってしまう。理由は不明…。
- 当初はご家族もスタッフもKirinn班フロアに入れるようにとアプローチをしていた。

この出来事を通して感じたこと

→ • Kirinn班活動フロアに入ることが正解ではない、本人がやりたいことをできていたらいいのではないか。

- 本人の思いを尊重すること。
- 活動場所にこだわらず今どうしたいのか？を知ろうとする。
- メンバーさんが心配して近くで寄り添ってくれる。



# 改めて振り返って

- 取り組みに参加の方法も人それぞれ。
- わかりやすい伝え方も人それぞれ。
- 多様性を大事にしていきたい。
- これからもときに揺れながら悩みながら。メンバーさんと一緒に歩んでいきたい。

ご清聴ありがとうございました！

